



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター
（奈良県保健環境研究センター内）
Nara IDSC



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（10月月報） **NEW**
- 病原体（ウイルス）検出情報（10月） **NEW**
- 感染症還元情報（週報）に関するアンケート結果報告 **NEW**



（調査週） 平成 23 年 第 45 週 11 月 7 日（月）～11 月 13 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	感染性胃腸炎	1.83	→	→	→～↑	→～↓
2	A 群溶連菌咽頭炎	1.03	→～↑	→～↑	↑	→
3	手足口病	0.80	→～↓	↓	→	↑↑
4	水痘	0.74	→	→～↑	→～↑	↓
5	RS ウイルス感染症	0.51	→	→	→	↑

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は 80 例で、前週報告の 96 例から減少。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②水痘＝A 群溶連菌咽頭炎、④RS ウイルス感染症、⑤突発性発疹の順。感染性胃腸炎の報告数（22 例）は、ほぼ横ばい。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（12 例）も、ほぼ横ばい。RS ウイルス感染症の報告数（10 例）も、ほぼ横ばい。突発性発疹の報告数（8 例）も、ほぼ横ばい。水痘の報告数（12 例）は、減少。奈良市 HC および郡山 HC 両管内基幹定点から、マイコプラズマ肺炎が各々順に 1 例、2 例の計 3 例（10～14 歳児；2 例、15～19 歳症例；1 例）報告された。奈良市 HC および郡山 HC 両管内眼科定点からの報告はなかった。（村井 記）

県中部地区概況 報告数は 44 週の 108 例から、45 週は 122 例と増加した。上位の 5 疾患（44 週→45 週）は、①感染性胃腸炎（27 例→40 例）、②A 群溶連菌咽頭炎（19 例→20 例）、③手足口病（22 例→20 例）、④咽頭結膜熱（10 例→13 例）、⑤水痘（9 例→12 例）の順であった。感染性胃腸炎は増加し 1 位、手足口病はやや減少したが 2 位に、RS ウイルス感染症は減少し 6 位となった。インフルエンザの報告はなかった。基幹定点及び眼科定点からの報告はなかった。（徳田 記）

県南部地区概況 報告数（第 44 週→第 45 週）は 30 例→16 例と減少。報告のあった疾患は①A 群溶連菌咽頭炎（4 例→4 例）、②RS ウイルス感染症（4 例→3 例）、②手足口病（0 例→3 例）、④感染性胃腸炎（5 例→2 例）、④水痘（16 例→2 例）、⑥突発性発疹（1 例→1 例）⑥流行性角結膜炎【眼科定点】（0 例→1 例）。 （柳生 記）

【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（10 月月報）】

平成 23 年 10 月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下の通りです。

・STD 患者数（人）

疾患名/報告月	10 月		前月（9 月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	9	1.00	8	0.89
性器ヘルペスウイルス感染症	9	1.00	3	0.33
尖圭コンジローマ	0	0	3	0.33
淋菌感染症	5	0.56	4	0.44

・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾患名/報告月	10 月		前月（9 月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	46	7.67	19	3.17
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	8	1.33	4	0.67
薬剤耐性緑膿菌感染症	4	0.67	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

（感染症情報センター 記）

【病原体（ウイルス）検出情報（平成 23 年 10 月）】

病原体定点医療機関から保健環境研究センターウイルスチームに搬入された検体の、10 月におけるウイルス検出状況は以下の通りです。

患者数（平成 23 年 10 月検出分）

検出病原体		北和	中和	南和	臨床診断名
コクサッキー	A16		2		手足口病(2)
	B1		1		感染性胃腸炎(1)
	B3		1		扁桃炎(1)
	B4		1		インフルエンザ様疾患(1)
	B5		2		無菌性髄膜炎(1)、感染性胃腸炎(1)
アデノ	5		1		扁桃炎(1)

（保健環境研究センター 記）

感染症還元情報（週報）に関するアンケート結果報告

奈良県感染症情報センターから配信する還元情報（週報）およびホームページ掲載情報の改善・充実を目的として活用方法等に関するアンケートを実施いたしました（対象：サーベイランス定点医療機関および週報メール配信登録機関）。その結果の概要をご報告いたします。

I 回答数と主な回答者職種

	回答数	主な回答者職種		
教育機関	66	養護教諭	教諭	保育士
医療機関	56	医師		
老人福祉施設	8	事務職員	看護師	
自治体	37	事務職員	保健師	



II 週報を、どのように活用していますか（上位3項目）

	★★★★	★★★	★
教育機関	施設職員への情報提供	外部に対する情報提供	健康チェック
医療機関	医療現場で活用	施設職員への情報提供	施設内での掲示
老人福祉施設	施設職員への情報提供		
自治体	施設職員への情報提供	業務に活用	

III 参考となる情報はなんですか（上位4項目）

	★★★★★	★★★★	★★★	★
教育機関	地区別上位5疾患	気になる話題	地区概況・外来状況	月報告対象感染症
医療機関	地区別上位5疾患	地区概況・外来状況	気になる話題	全数報告対象感染症
老人福祉施設	地区別上位5疾患	地区概況・外来状況	全数報告対象感染症	月報告対象感染症
自治体	地区別上位5疾患	気になる話題	全数報告対象感染症	地区概況・外来状況



今後、掲載して欲しい情報についても沢山の貴重なご意見を頂きました。これらを参考とし、できるだけニーズに合った情報をタイムリーに発信することに努めて参ります。

ご多忙のなか、アンケートにご協力をいただき有り難うございました。

（感染症情報センター 記）